

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、循環器内科では、国立循環器病研究センター心臓血管内科が実施する下記研究のために、本学で保管する下記の診療情報等を下記研究代表機関に対して提供しています。

この研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 循環器疾患診療実態調査（JROAD）のデータベースと二次調査に基づく致死性心室性不整脈患者の診断・治療・予後に関する研究（研究C：Brugada症候群に関する調査研究「JROAD-Brugada調査研究」）

[研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：国立循環器病研究センター 心臓血管内科 相庭 武司

本研究に関する問い合わせ先：国立循環器病研究センター 心臓血管内科 相庭 武司

電話：06-6170-1070

[利用・提供の対象となる方]

2012年4月1日～2021年3月31日の間に、心室細動・心室頻拍・院外心停止で入院された方で、病名に「Brugada症候群」が登録されている方

[利用・提供している診療情報等の項目]

患者背景、自覚症状、初発の致死性心室性不整脈あるいは院外心停止の診断、内服薬、血液検査、遺伝子検査、心電図関連検査、心臓カテーテル検査、心臓電気生理学的検査、心臓超音波検査、胸部レントゲン検査、胸腹部CT、心臓MRI、心臓核医学検査、心筋生検、致死性心室性不整脈に対する薬物治療および非薬物治療、退院後に患者さんに起こった出来事とその日付、新型コロナワクチン接種歴、新型コロナウイルス感染症の治療歴、病理学的検査の結果

[利用・提供の目的] （遺伝子解析研究：無）

Brugada症候群の患者さんの原因疾患、治療内容、転帰を明らかにし、今後の早期の診断及び治療に役立てていくことを目的にしています。

[主な共同研究機関及び研究責任者]

国立循環器病研究センター 心臓血管内科 相庭 武司

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：研究機関長の実施許可日より2027年3月までの間（予定）

提供方法：□直接手渡し □郵送・宅配 ■電子的配信 □その他（ ）

[この研究での診療情報等の取扱い]

倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学 循環器内科 特任教授 庄田 守男

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 循環器内科 特任教授 庄田 守男

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）

[東京女子医科大学における機関長]

理事長 清水 治